ER 作成者連絡会議 分科会の開催概要

- 1 建物状況調査分科会
- 2 建物環境・土壌汚染リスク評価分科会
- 3 地震リスク評価分科会

【参考-1】 建物環境リスク評価分科会(平成26年7月に「建物環境・土壌汚染リスク評価分科会」に統合)

【参考-2】 土壌汚染リスク評価分科会(平成26年7月に「建物環境・土壌汚染リスク評価分科会」に統合)

その他 震災対応に関する意見交換会

■分科会等活動概要

1 建物状況調査分科会

| 回数 | 日時、出席人 | 数 | 活動概要 |
|--------|--------------|----------|--|
| 第51回 | 令和7年12月頃 | (予定) | ・講演会「(仮) 基礎・地盤に係る建築物のリスク要因」 講師:井上 波彦 (国立研究開発法人建築研究所) 他 *他分科会との合同開催 |
| 第 50 回 | 令和6年11月12日 | (20 名出席) | ・講演会「2024 年能登半島地震における液状化および杭基礎 建物の傾斜について」 講師:田村 修次 (東京科学大学 環境・社会理工学院 建築学系 教授) *他分科会と合同開催 |
| 第49回 | 令和5年10月17日 | (21 名出席) | ・講演会「トルコ・シリア地震災害調査 〜これまでの地震被害と法令の変遷を含めて〜」 講師:楠浩一(東京大学地震研究所教授) *他分科会との合同開催 |
| 第48回 | 令和5年8月3日 | (20 名出席) | ERGL (2019 年版) の改訂についてERGL 改訂に際して |
| 第 47 回 | 令和5年3月17日 | (11 名出席) | ・昨今の改正建築基準法等への対応について ・建築物省エネ法の改正内容について *新型コロナウィルス感染拡大予防のため、Web 開催とした。 |
| 第 46 回 | 令和5年2月9日 | (21 名出席) | ・講演会「GRESB における ER 及び不動産の維持管理に 関する要求事項と向上戦略」 講師:吉澤 伸記(合同会社グリーナー・スペース・ プランニング) *他分科会と合同開催。 |
| 第 45 回 | 令和4年8月4日 | (20 名出席) | ・講演会「DBJ Green Building 認証の概要について」 講師: 蓮見 清彦 ((一財) 日本不動産研究所) *他分科会と合同開催。 |
| 第 44 回 | 令和4年3月15日(火) | 22 名出席 | ・講演会「機能継続性評価を目的とした構造性能評価システムに関する研究」講師:向井 智久氏国立研究開発法人建築研究所*他分科会との合同開催 |

| 第 43 回 | 令和4年2月8日(火)18名出席 | ・木質系建築物の調査事例等について |
|--------|----------------------------|---|
| | | ・講演会「仕上塗材の調査・分析・対策の最前線」 講師: 姫野 賢一郎氏、亀元 宏宣 氏、外山 尚紀氏 |
| 第 42 回 | 令和2年10月26日(月)21名出席 | 一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会 *他分科会との合同開催 |
| 第 41 回 | 令和2年2月28日(金)6名出席 | ・遵法性調査等で困ったことについて |
| 第 40 回 | 令和2年1月29日(火)22名出席 | ・「大手町ビル」見学会 *他分科会との合同開催 |
| 第39回 | 令和元年9月17日(火)12名出席 | ・ER ガイドライン(2019 年版)について ・近年の建築基準法等の改正状況について |
| 第38回 | 平成30年11月30日(金)12名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第37回 | 平成29年6月1日(木)13名出席 | ・「㈱竹中工務店 東関東支店」見学会 |
| 第36回 | 平成 28 年 4 月 13 日(水) 18 名出席 | ・「機械式立体駐車場 維持管理の課題」 講師:成瀬 善果 氏、髙木 誠一 氏 一般社団法人 駐車場管理支援機構 |
| 第35回 | 平成28年2月3日(水)17名出席 | ・建物状況調査 Q&A について |
| 第 34 回 | 平成 27 年 11 月 11 日(水)19 名出席 | ・困った委託者の事例について・建築基準法の改正について・消防法の改正及び火災事例のその後について |
| 第33回 | 平成 26 年 12 月 18 日(木)16 名出席 | ・「昇降機の管理とリニューアル」 講師:若林 正信 氏㈱日立ビルシステム |
| 第 32 回 | 平成 26 年 3 月 19 日(水)14 名出席 | ・コスト関連の情報提供について・エレベーター設備工事の価格等情報データベースについて・東京都駐車場条例について・建築基準法の一部を改正する法律案について |
| 第31回 | 平成 25 年 11 月 27 日(水)15 名出席 | ・ER 作成に係る事例について ・東京都の駐車場設置基準の見直しについて ・消防法施行令の一部を改正する政令(案)等について ・不活性ガス消火設備等の容器弁の安全性確保に係る点検につ いて |
| 第 30 回 | 平成 25 年 9 月 11 日(水)30 名出席 | ・「いま求められる資産除去債務と耐用年数の考え方〜投資家ニーズとマネジメントの視点を踏まえた基本思考の理解〜」講師:木村 直人 氏監査法人アヴァンティア 代表社員*建物環境リスク評価分科会、土壌汚染リスク評価分科会と合同開催。 |
| 第29回 | 平成 25 年 7 月 10 日(水)15 名出席 | ・ER 作成に係る事例について ・ER 作成業務に関連した業務等の受託背景について |
| 第28回 | 平成 25 年 4 月 24 日(水)20 名出席 | ・ER 作成業務の実施状況調査結果について ・ER 作成に係る事例について |
| 第27回 | 平成 25 年 1 月 23 日(水)14 名出席 | ・「エンジニアリング・レポート関連〜建物状況(遵法性)〜」 講師:土佐林 忠史 氏 建物状況調査分科会主査 ・テント工作物、二段式駐輪場等に関する情報交換 |
| 第26回 | 平成 24 年 10 月 3 日(水)22 名出席 | ・ER 作成に係る事例について ・太陽光発電設備、違法設置エレベーター対策等に関する情報 交換 |
| 第 25 回 | 平成 24 年 7 月 25 日(水)17 名出席 | ・ER 作成に係る事例について ・エレベーターの技術基準の見直し等に関する情報交換 |
| 第 24 回 | 平成 24 年 5 月 23 日(水)19 名出席 | ・エンジニアリング・レポート作成事例集遵法性編の更新について ・広島県福山市ホテル火災について |

| | | ・今後のテーマについて |
|------|----------------------------|--|
| 第23回 | 平成24年3月14(水)15名出席 | ER ガイドラインの反響についてER 作成に係る事例の追加について今後の分科会テーマについて |
| 第22回 | 平成 24 年 1 月 25 日(水)19 名出席 | ER 作成に係る事例の追加・更新についてER ガイドラインの改訂について |
| 第21回 | 平成 23 年 10 月 6 日(木)19 名出席 | ER ガイドラインの改訂について今後の分科会テーマについて |
| 第20回 | 平成23年8月4日(木)22名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第19回 | 平成23年6月8日(水)26名出席 | ・改正省エネ法の取扱いについて・ER ガイドラインの改訂について |
| 第18回 | 平成 23 年 4 月 13 日(水)26 名出席 | ER ガイドラインの改訂について平成 23 年度の分科会テーマについて |
| 第17回 | 平成 23 年 1 月 26 日(水)21 名出席 | ・修繕更新費用、再調達価格、既存不適格関連の事例への対応 について ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第16回 | 平成 22 年 11 月 26 日(金)20 名出席 | ・遵法性関連の事例への対応について・ER ガイドラインの改訂について |
| 第15回 | 平成 22 年 9 月 29 日(水)21 名出席 | ・ 遵法性関連の事例への対応について ・ 修繕更新費用関連の事例への対応について |
| 第14回 | 平成22年7月7日(水)23名出席 | ・改正省エネ法等への対応について ・遵法性関連の事例への対応について |
| 第13回 | 平成 22 年 4 月 26 日(月)22 名出席 | ・「既存不適格等について」講師: 今泉 晋 氏 BELCA 専務理事・改正省エネ法等への対応について |
| 第12回 | 平成22年2月3日(水)20名出席 | ・改正省エネ法、東京都環境確保条例への対応について ・既存不適格について |
| 第11回 | 平成 21 年 11 月 30 日(月)22 名出席 | 「ER 作成事例集 遵法性編」追加事例の報告・ASTM E2018-08(建物状況調査のための指針)の紹介・時勢単価について |
| 第10回 | 平成 21 年 9 月 14 日(月)19 名出席 | ・「ER 作成事例集 - 遵法性編」追加事例の報告 ・ASTM E2018-08(建物状況調査のための指針)の紹介 |
| 第9回 | 平成 21 年 7 月 30 日(木)28 名出席 | ・特殊建築物等の調査方法、判定基準について・「ER 作成事例集 遵法性編」追加事例の報告・ASTM について |
| 第8回 | 平成21年6月11日(木)31名出席 | ・「ER作成事例集 遵法性編」の報告 ・今年度の活動方針について |
| 第7回 | 平成 20 年 10 月 16 日(木)25 名出席 | ・費用関連の事例の対応について各社の事例について意見交換 (長期修繕更新費用の1年目の費用と短期修繕更新費用等) ・各社の近況 |
| 第6回 | 平成 20 年 7 月 29 日(火)28 名出席 | ・遵法性関連の事例の対応について(まとめ方)・費用関連の事例の対応について各社の事例について意見交換(専用部設備の更新周期等)・物価上昇の最近の傾向・空調衛生設備の修繕更新費(算出プログラムの紹介) |
| 第5回 | 平成 20 年 5 月 28 日(月)25 名出席 | ・遵法性関連の事例の対応について各社の事例について意見交換(工作物の扱い、容積緩和適用の駐車場部分の倉庫使用等) ・費用関連の事例の対応について各社の事例について意見交換 (共通仮設工事費の計上、再調達価格の算定等) |
| 第4回 | 平成20年4月7日(月)22名出席 | ・遵法性関連の事例の対応について各社の事例について意見交 換(敷地内広告物の扱い、物置の撤去等) |
| 第3回 | 平成20年3月17日(月)25名出席 | ・遵法性関連の事例の対応について各社の事例について意見交換(物置等の扱い、駐車場附置義務違反等) |

| ĺ | 第2回 | 平成 20 年 2 月 19 日(火)26 名出席 | ・遵法性関連の事例の対応について各社の事例について意見交 換(副本のない場合の判断、構造の既存不適格の問題等) |
|---|-----|---------------------------|--|
| | 第1回 | 平成 19 年 12 月 4 日(火)22 名出席 | ・BELCA ガイドライン改定のポイント説明等 |

2 建物環境・土壌汚染リスク評価分科会

※平成26年7月に「建物環境リスク評価分科会」と「土壌汚染リスク評価分科会」を統合

| 回数 | 日時、出席人数 | 活動概要 |
|--------|----------------------------|--|
| 第17回 | 令和7年10月30日 (12名出席) | ・講演会「低濃度 PCB 廃棄物の適正処理について」 講師: 田中 夏来 、川瀬 豊 (公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団 技術部) |
| 第16回 | 令和6年12月24日 (21名出席) | ・講演会「有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取組」 講師:宮本 有樹(環境省 水・大気環境局環境管理課 有機フッ素化合物対策室) |
| 第 15 回 | 令和5年9月22日 (21名出席) | ・講演会「石綿(アスベスト)に関する大気汚染防止法・環境 確保条例の規制について ~解体・改修等工事実施時の注意点~」 講師: 小坂 智 (東京都環境局環境改善部 大気保全課) |
| 第14回 | 令和5年7月25日 (20名出席) | ・ERGL の改訂等について ・アスベストに関する記述の方針について |
| 第13回 | 令和5年2月9日 (21名出席) | ・講演会「GRESB における ER 及び不動産の維持管理に 関する要求事項と向上戦略」 講師:吉澤 伸記(合同会社グリーナー・スペース・ プランニング) *他分科会と合同開催。 |
| 第12回 | 令和4年8月4日 (20名出席) | ・講演会「DBJ Green Building 認証の概要について」 講師: 蓮見 清彦 ((一財) 日本不動産研究所) *他分科会と合同開催。 |
| 第11回 | 令和4年3月9日(火)12名出席 | ・土壌汚染リスク評価の現状等について ・昨今のアスベスト関連の動向について |
| 第 10 回 | 令和2年10月26日(月)21名出席 | ・講演会「仕上塗材の調査・分析・対策の最前線」 講師: 姫野 賢一郎氏、亀元 宏宣 氏、外山 尚紀氏 一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会 *他分科会との合同開催 |
| 第9回 | 令和2年1月29日(火)22名出席 | ・「大手町ビル」見学会 *他分科会との合同開催 |
| 第8回 | 令和元年8月30日(金)12名出席 | 建物状況調査分科会、地震リスク評価分科会と合同開催。・講演会「CASBEE・ウェルネスオフィスの概要と不動産業界への展開について」講師:吉澤 伸記 氏合同会社グリーナー・スペース・プランニング代表・「ER ガイドラインの改訂」について |
| 第7回 | 平成 30 年 11 月 2 日(金)12 名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について・ER ガイドラインの改訂(案)について1) 建物環境リスク評価、2) 土壌汚染リスク評価 |
| 第6回 | 平成30年4月16日(月)17名出席 | ・土対法改正に伴う土壌汚染リスク評価のフリーディスカッション ・アスベスト含有外装吹付け材(いわゆるリシン吹付け)やレベル 2(断熱材、保温材)に関する、ER での対応についてのフリーディスカッション ・ER ガイドライン改訂スケジュールのお知らせ |
| 第5回 | 平成 29 年 4 月 12 日(水) 14 名出席 | ・「(仮題) 不動産リスクマネジメントと ER ユーザーガイド」の 編集経過報告 ・ER のアスベスト評価に関する意見交換 ・土壌汚染に関する意見交換(豊洲問題、法改正に伴うクロロ エチレンの扱い等) |

| 第4回 | 平成 28 年 7 月 21 日(木)11 名出席 | ・「土地利用・土地取引における土壌認証制度について 〜共通指標の判断とリスク情報の開示による関係者のリスク 管理推進に向けて〜」 講師:光成 美紀 氏 一般社団法人土地再生推進協会 代表 理事株式会社 FINEV 代表取締役 |
|-----|----------------------------|---|
| 第3回 | 平成 27 年 11 月 25 日(水)12 名出席 | ・「石油企業から見た土壌汚染対応の動向」 講師:巣山 廣美 氏昭和シェル石油㈱ |
| 第2回 | 平成27年4月8日(水)14名出席 | ・フロン排出抑制法の概要について ・ER ガイドラインにおけるオゾン層破壊物質についての意見 交換 ・平成 27 年度の分科会の活動計画について |
| 第1回 | 平成 26 年 11 月 28 日(金)17 名出席 | 「新 JIS 法によるアスベスト分析について」 ①JIS A 1481-1 及び JIS A 1481-2 の概要と特徴 講師: 小沢 絢子 氏㈱EFA ラボラトリーズ ②JIS A 1481 の運用上の諸問題 講師: 亀元 宏宣 氏㈱EFA ラボラトリーズ |

3 地震リスク評価分科会

| 回数 | 日時、出席人数 | 活動概要 |
|--------|---------------------------|--|
| 第 59 回 | 令和7年12月頃 (予定) | ・講演会「(仮) 基礎・地盤に係る建築物のリスク要因」 講師:井上 波彦 (国立研究開発法人建築研究所) 他 *他分科会との合同開催 |
| 第58回 | 令和7年11月7日 (予定) | ・講演会「(仮) 広域降灰対策の現状について」 講師: 今村 翔太 (内閣府 政策統括官(防災担当) 付 参 事官補佐) |
| 第 58 回 | 令和6年11月12日 (20名出席) | ・講演会「2024 年能登半島地震における液状化および杭基礎 建物の傾斜について」 講師:田村 修次(東京科学大学 環境・社会理工学院 建築学系 教授) *他分科会と合同開催 |
| 第 57 回 | 令和5年10月17日 (21名出席) | ・講演会「トルコ・シリア地震災害調査 〜これまでの地震被害と法令の変遷を含めて〜」 講師:楠浩一(東京大学地震研究所教授) *他分科会との合同開催 |
| 第56回 | 令和5年7月18日 (8名出席) | ・ERGL (2019 年版) の改訂について |
| 第 55 回 | 令和5年3月20日 (8名出席) | ・地震リスク評価に関わる情報交換について ・応答スペクトルに関する地震動ハザード評価 (試作版)」について *新型コロナウィルス感染拡大予防のため、Web 開催とした。 |
| 第 54 回 | 令和4年3月15日(火)22名出席 | ・講演会「機能継続性評価を目的とした構造性能評価システムに関する研究」講師:向井 智久氏国立研究開発法人建築研究所*他分科会との合同開催 |
| 第53回 | 令和3年11月12日(金)7名出席 | ・地震リスク評価に関わる情報交換について ・「第2回 水害リスク評価検討WG」の報告について ・BELCA HP 「地震リスク評価 Q&A」の更新について |
| 第 52 回 | 令和2年12月3日(木)7名出席 | ・地震リスク評価に関わる情報交換について ・セミナーの報告・「水害等のリスクの対応方針検討WG」 について ・BELCA HP 「地震リスク評価 Q&A」の更新について |
| 第51回 | 令和2年1月29日(火)22名出席 | ・「大手町ビル」見学会 *他分科会との合同開催 |
| 第 50 回 | 令和元年8月22日(木)7名出席 | ・地震リスク評価に関わる情報交換について ①「建築構造設計指針(東京都建築構造行政連絡会)2019年」講習会の報告 ②「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針」講習会の報告 ・ER ガイドラインの改訂について ・ER 講習会「地震リスク評価の実際と活用の仕方」の開催について ・「地震リスク評価 Q&A」の更新について |
| 第49回 | 平成 30 年 11 月 19 日(月)5 名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第 48 回 | 平成 30 年 10 月 3 日(水)8 名出席 | ・地震リスク評価に関わる情報交換 ①大阪北部地震被害調査速報会(日本建築学会近畿支部) ②地震調査研究推進本部における地震ハザード評価の動向 ・ER ガイドラインの改訂について |

| | | ・講習会「地震リスク評価の実際と活用の仕方」の開催について |
|--------|---------------------------|---|
| 第 47 回 | 平成 30 年 4 月 26 日(木)8 名出席 | ・地震リスク評価に関わる情報交換 ①超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による 長周期地震動への対策について ②地震防災情報の伝え方 2016 年熊本地震の教訓 ③「首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロジェクト」 非構造部材を含む構造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備 ④「ハザード・リスク情報に関する検討会」報告 防災イノベーション・プラットフォーム構想について ・ER ガイドラインの改訂 ・地震リスク評価の講習会について ・地震リスク評価 Q&A の更新について |
| 第46回 | 平成 29 年 6 月 13 日(火)12 名出席 | ・ハザード・リスクに関する勉強会・『不動産リスクマネジメントと ER の活用ガイド』について・分科会の活動計画について |
| 第45回 | 平成 28 年 11 月 21 日(月)7 名出席 | ・『不動産リスクマネジメントと ER の活用ガイド』について |
| 第 44 回 | 平成28年4月20日(水)6名出席 | ・勉強会・『ユーザーのための ER 活用ガイド』の質問について・地震リスク評価編の回答例について |
| 第 43 回 | 平成28年3月8日(水)7名出席 | ・地震リスク評価に関する情報交換 ・『(仮称)ユーザーのための ER 活用ガイド』の質問(案)について ・『地震リスク評価 Q&A』の見直しについて ・地震リスク評価分科会の活動計画について |
| 第 42 回 | 平成 28 年 1 月 26 日(火)7 名出席 | ・ハザード・リスク及び長周期地震動について ・地震リスク評価 Q&A について |
| 第41回 | 平成 27 年 11 月 4 日(水)6 名出席 | ・地震リスク評価分科会のテーマについて |
| 第 40 回 | 平成 26 年 4 月 23 日(水)28 名出席 | 建物環境リスク評価分科会と合同開催。 「地震動予測地図の最新状況について」講師:藤原 広行 氏独立行政法人 防災科学技術研究所 奥村 俊彦 氏清水建設㈱ 技術研究所 |
| 第39回 | 平成26年2月5日(水)8名出席 | ・地震リスク評価関連のセミナーの提案について |
| 第38回 | 平成 25 年 11 月 13 日(水)8 名出席 | ・地震リスク評価関連の情報交換 ・今後の分科会テーマについて |
| 第37回 | 平成 25 年 10 月 2 日(水)9 名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について ・地震リスク評価関連の情報交換 |
| 第36回 | 平成25年6月6日(木)10名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について ・ER 作成業務の実施状況調査結果について |
| 第 35 回 | 平成25年3月7日(木)9名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について |
| 第34回 | 平成 24 年 12 月 5 日(水)8 名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について |

| 第33回 | 平成 24 年 9 月 27 日(木)10 名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について |
|--------|----------------------------|---|
| 第 32 回 | 平成24年8月7日(火)12名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について |
| 第31回 | 平成 24 年 6 月 8 日(金)10 名出席 | ・地震リスク評価 Q&A について |
| 第30回 | 平成 24 年 3 月 30 日(金)8 名出席 | ・ER利用者に対する地震リスク評価の解説等の検討 |
| 第29回 | 平成 24 年 1 月 13 日(金)8 名出席 | ・「デュー・ディリジェンスとエンジニアリング・レポート(緑本)」に関する意見交換 |
| 第28回 | 平成 23 年 11 月 24 日(木)8 名出席 | ER ガイドラインの改訂原稿(案)の確認について今後の分科会テーマについて |
| 第27回 | 平成 23 年 9 月 16 日(金)9 名出席 | ・ER ガイドライン改訂原稿(案)の確認について |
| 第26回 | 平成 23 年 8 月 9 日(火)11 名出席 | ・ER ガイドライン改訂原稿(案)の確認について |
| 第 25 回 | 平成 23 年 6 月 30 日(水)12 名出席 | ・ER ガイドライン改訂原稿(案)の確認について |
| 第24回 | 平成23年5月31日(木)10名出席 | ・ER ガイドライン改訂原稿(案)の確認について |
| 第23回 | 平成23年4月7日(木)10名出席 | ・地震リスクの評価フローについて・ER ガイドラインの改訂のスケジュール等について |
| 第22回 | 平成 23 年 2 月 23 日(水)10 名出席 | ・地震リスクの評価フローについて・ER ガイドラインの改訂のスケジュール等について |
| 第21回 | 平成 23 年 1 月 25 日(火)12 名出席 | ER ガイドラインと海外の地震リスク評価の比較ER ガイドラインの改訂のスケジュール等について |
| 第20回 | 平成 22 年 12 月 9 日(木)14 名出席 | ・ER ガイドラインと海外の地震リスク評価の比較・ER ガイドラインの改訂の方針、担当、スケジュールについて |
| 第19回 | 平成 22 年 10 月 28 日(木)14 名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第18回 | 平成 22 年 9 月 15 日(水)11 名出席 | ・建物の地震 PML 評価の海外事例について ・建物の地震リスク評価の海外事例について |
| 第17回 | 平成 22 年 7 月 9 日(金)13 名出席 | ・建物の地震 PML 評価の海外事例について ・建物の地震リスク評価の海外事例について |
| 第16回 | 平成 22 年 5 月 21 日(金)12 名出席 | ・建物の地震 PML 評価の海外事例について ・建物の地震リスク評価の海外事例について |
| 第15回 | 平成 22 年 3 月 12 日(金)11 名出席 | ・建物の地震 PML 評価の海外事例について ・建物の地震リスク評価の海外事例について |

| 第14回 | 平成 22 年 1 月 15 日(金)13 名出席 | ・建物の地震 PML 評価の海外事例について ・建物の地震リスク評価の海外事例について |
|--------|----------------------------|--|
| 第13回 | 平成 21 年 11 月 6 日(金)10 名出席 | ・第12回の講演「地震リスク評価」に関する意見交換 ・建物の地震 PML 評価の海外事例について ・建物の地震リスク評価の海外事例について |
| 第 12 回 | 平成 21 年 9 月 11 日(金)12 名出席 | ・「地震リスク評価」に関する講演 講師:坂本 成弘 氏 大成建設㈱ 技術センター 建築技術研究所 防災研究室 火災・リスクチーム チームリーダー 諏訪 仁 氏 ㈱大林組 東京本社 技術本部 技術研究所 構造技術研究部 主査 |
| 第11回 | 平成 21 年 7 月 17 日(金)10 名出席 | ・建物の地震 PML 評価の海外事例の紹介 ・建物の地震リスク評価の海外事例の紹介 |
| 第10回 | 平成 21 年 5 月 28 日(木)10 名出席 | ・英訳用語集に関する意見交換・今年度の活動方針について |
| 第9回 | 平成 21 年 3 月 13 日(水)9 名出席 | ・英訳用語集に関する意見交換 |
| 第8回 | 平成21年2月10日(水)8名出席 | ・分析に用いられる必要資料について (その2)・現地調査項目について (その2) |
| 第7回 | 平成20年12月10日(水)9名出席 | ・分析に用いられる必要資料について (その1)・現地調査項目について (その1) |
| 第6回 | 平成 20 年 10 月 8 日(水)14 名出席 | ・2007 年版 BELCA ガイドラインの改訂を想定した内容に関する協議(地震リスク報告書への記載項目、説明内容の統一化について) |
| 第5回 | 平成20年8月6日(水)10名出席 | ・地震リスク報告書に関する顧客質疑、説明方法等について意 見交換・説明責任を果たすための情報発信の可能性について意 見交換 |
| 第4回 | 平成20年6月11日(水)13名出席 | ・2007 年版 BELCA ガイドラインの改訂を想定した内容に関する意見交換 |
| 第3回 | 平成20年4月9日(水)14名出席 | ・「2007 年の本邦 CMBS(不動産担保証券)市場の状況と 今後の動向・課題について」 講師:竹之内 和徳 氏ムーディーズジャパン㈱ ヴァイスプ レジデント ・地震リスク、地震 PML について竹之内氏を交えて意見交換 |
| 第2回 | 平成 20 年 2 月 13 日(火)14 名出席 | ・地震 PML の定義ならびに各社の評価手法について意見交換 |
| 第1回 | 平成 19 年 12 月 10 日(月)14 名出席 | ・分科会の運営、基本的考え方について ・2007 年版 BELCA ガイドライン地震リスク部分のポイント 説明等 |

【参考-1】 建物環境リスク評価分科会 ※平成26年7月に「建物環境・土壌汚染リスク評価分科会」に統合

| 回数 | 日時、出席人数 | 活動概要 |
|--------|---------------------------|--|
| 第 42 回 | 平成 26 年 3 月 20 日(木)8 名出席 | ・建築物石綿含有建材調査資格者について ・ASTM E1527-13 と E1527-05 の Non-Scope Considerations の変更箇所の確認について ・CASBEE 不動産マーケット普及版について |
| 第 40 回 | 平成 25 年 9 月 11 日(水)30 名出席 | 建物状況調査分科会、土壌汚染リスク評価分科会と合同開催。 ・「いま求められる資産除去債務と耐用年数の考え方〜投資家ニーズとマネジメントの視点を踏まえた基本思考の理解〜」 講師:木村 直人 氏監査法人アヴァンティア 代表社員 |
| 第39回 | 平成25年6月7日(金)8名出席 | ・フロン破壊処理施設(三友プラントサービス(株)横浜工場) 見学会 |
| 第38回 | 平成 25 年 3 月 12 日(水)11 名出席 | ・CASBEE 不動産マーケット普及版の評価と建物環境との 関連ポイントについて ・微小粒子状物質 (PM2.5) について |
| 第37回 | 平成 25 年 1 月 16 日(月)9 名出席 | ・アスベスト、PCB以外の評価項目について・「国際会計基準導入に伴う新事業分野について一資産除去債務(環境負債)を主体に一」講師:楠浩一氏ER作成者連絡会議副幹事長 |
| 第41回 | 平成 25 年 12 月 5 日(木)20 名出席 | 土壌汚染リスク評価分科会と合同開催。 ・「ロンドンオリンピックサイトの土壌汚染対策と海外環境 デューデリジェンス: ASTM E1527-13 改定について」 講師: 光成 美紀 氏株式会社 FINEV 代表取締役 |
| 第 35 回 | 平成24年9月6日(木)12名出席 | ・微量 PCB 処理施設(東京臨海リサイクルパワー㈱)見学会 講師:小園 治 氏東京臨海リサイクルパワー㈱ |
| 第 34 回 | 平成24年7月10日(火)8名出席 | ・第32回、第33回分科会の講演に関する意見交換 ・東日本大震災に関する FAQ について |
| 第33回 | 平成 24 年 5 月 22 日(火)20 名出席 | ・「アスベストに係る諸情報」 講師:朝賀 光 氏一般社団法人 JATI 協会 ・東日本大震災に関する FAQ について |
| 第 32 回 | 平成 24 年 3 月 22 日(木)13 名出席 | 「CASBEE 不動産マーケット普及版の開発経緯と、今後の 活用見通しについて」 講師: 伊藤 雅人 氏住友信託銀行株式会社 |
| 第31回 | 平成 24 年 1 月 17 日(火)11 名出席 | ・建物環境リスク評価の評価事例及び質問事例について |
| 第36回 | 平成 24 年 11 月 5 日(月)8 名出席 | ・微量 PCB 処理施設見学会に関する意見交換 ・今後の分科会の話題について |
| 第29回 | 平成 23 年 9 月 12 日(月)7 名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第28回 | 平成23年8月3日(水)13名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第27回 | 平成 23 年 6 月 28 日(火)12 名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第26回 | 平成 23 年 6 月 10 日(金)13 名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |

| 第 25 回 | 平成 23 年 5 月 11 日(水)13 名出席 | ・改正省エネ法に係るヒアリング事項について・ER ガイドラインの改訂について |
|--------|----------------------------|--|
| 第 24 回 | 平成23年3月9日(水)10名出席 | ・建物環境リスク評価の 15 項目の検討 ・改正省エネ法等の ER への盛り込み方について |
| 第23回 | 平成 23 年 2 月 16 日(水)16 名出席 | ・「シックハウスの現状」 講師:山口 陽二 氏環境リサーチ㈱ |
| 第30回 | 平成 23 年 11 月 22 日(火)8 名出席 | ER ガイドラインの改訂について今後の分科会テーマについて |
| 第21回 | 平成 22 年 9 月 7 日(火)17 名出席 | ・改正省エネ法等に関する最近の動向について ・建物環境リスク評価の 15 項目の検討 |
| 第20回 | 平成 22 年 6 月 24 日(木)16 名出席 | ・アスベスト分析手法の整理について(JIS、EPA、ISO) ・改正省エネ法等への対応について |
| 第19回 | 平成 22 年 4 月 20 日(火)20 名出席 | ・アスベスト分析手法の整理について(JIS、EPA、ISO) ・「グリーンビルへの取り組みと考え方」 講師:中村 直器 氏土壌汚染リスク評価分科会主査 ・改正省エネ法等への対応について |
| 第18回 | 平成 22 年 1 月 26 日(火)16 名出席 | ・PCB 処理施設の見学会場所:日本環境安全事業㈱ (JESCO) |
| 第 22 回 | 平成 22 年 10 月 13 日(水)13 名出席 | ・改正省エネ法等に関する最近の動向について ・建物環境リスク評価の 15 項目の検討 |
| 第15回 | 平成 21 年 7 月 28 日(火)17 名出席 | ・EPA 法によるアスベスト分析の見学会場所: (株)アースアプレイザル講師: 伴丈 修 氏株)アースアプレイザル PMS 事業部次長 兼 アスベスト・ラボ・マネージャー 亀元 宏宣 氏株)アースアプレイザル 取締役 |
| 第14回 | 平成 21 年 6 月 30 日(火)15 名出席 | ・第 13 回の講演に基づいた ASTM 及び AAI AAI (All Appropriate Inquiry: すべての適正な調査) のスタンスと ER ガイドラインの違いに関する意見交換 |
| 第13回 | 平成 21 年 5 月 26 日(火)16 名出席 | ・「海外投資家から見た日本不動産の環境リスクについて」講師: 亀元 宏宣 氏㈱アースアプレイザル 取締役樋口 裕里 氏㈱アースアプレイザル 国際事業部環境デュー・デリジェンス グループリーダー |
| 第12回 | 平成 21 年 3 月 10 日(火)11 名出席 | ・英訳用語集に関する意見交換 |
| 第11回 | 平成 21 年 2 月 12 日(木)14 名出席 | ・事前ヒアリング内容や必要書類について〈内容〉まとめ |
| 第16回 | 平成 21 年 10 月 5 日(月)13 名出席 | ・JIS 法によるアスベスト分析の見学会場所:内藤環境管理㈱ 講師:貝森 繁基 氏 内藤環境管理㈱ 環境分析部 品質検査箇所箇所長 加藤 吉紀 氏 内藤環境管理㈱ 環境分析部品質検査箇所チームリー ダー |
| 第17回 | 平成 21 年 10 月 29 日(木)10 名出席 | ・JIS 法と EPA 法によるアスベスト分析の比較 |
| 第7回 | 平成20年9月2日(火)12名出席 | ・事前ヒアリング内容や必要書類について〈内容〉アスベスト |

| 第6回 | 平成 20 年 7 月 15 日(火)14 名出席 | ・環境リスク評価の事例の対応について〈内容〉PCBの調査や 保管等 |
|------|----------------------------|---|
| 第5回 | 平成20年6月3日(火)16名出席 | ・環境リスク評価の事例の対応について〈内容〉アスベストの サンプリングや記載方法等 |
| 第4回 | 平成 20 年 4 月 15 日(火)15 名出席 | ・調査と評価方法の対応について〈内容〉空気環境、廃棄物等 |
| 第3回 | 平成 20 年 3 月 25 日(火)12 名出席 | ・調査と評価方法の対応について〈内容〉仕上塗料、地下室の 換気設備等 |
| 第2回 | 平成 20 年 2 月 27 日(火)14 名出席 | ・調査と評価方法の対応について〈内容〉PCBの処分方法や調査方法等 |
| 第10回 | 平成 20 年 12 月 17 日(水)12 名出席 | ・事前ヒアリング内容や必要書類について〈内容〉排水、産業 廃棄物等 |
| 第9回 | 平成 20 年 11 月 11 日(火)14 名出席 | ・事前ヒアリング内容や必要書類について〈内容〉危険物、水質等 |
| 第8回 | 平成 20 年 10 月 7 日(火)15 名出席 | ・事前ヒアリング内容や必要書類について〈内容〉PCB、フロン等 |
| 第1回 | 平成 19 年 12 月 13 日(木)12 名出席 | BELCA ガイドライン改訂・建物環境リスク部分の説明等 |

【参考-2】 土壌汚染リスク評価分科会

※平成26年7月に「建物環境・土壌汚染リスク評価分科会」に統合

| 回数 | 日時、出席人数 | 活動概要 |
|--------|----------------------------|--|
| 第 32 回 | 平成 26 年 2 月 19 日(水)11 名出席 | ・ASTM E1527-13 の改訂ポイント ・中央環境審議会・土壌環境基準等の見直しについて ・2014 年度の開催テーマについて |
| 第 31 回 | 平成 25 年 12 月 5 日(木)20 名出席 | 建物環境リスク評価分科会と合同開催。 ・「ロンドンオリンピックサイトの土壌汚染対策と海外環境 デューデリジェンス: ASTM E1527-13 改定について」 講師: 光成 美紀 氏株式会社 FINEV 代表取締役 |
| 第 30 回 | 平成 25 年 9 月 11 日(水)30 名出席 | 建物状況調査分科会、建物環境リスク評価分科会と合同開催。 ・「いま求められる資産除去債務と耐用年数の考え方〜投資家ニーズとマネジメントの視点を踏まえた基本思考の理解〜」 講師:木村 直人 氏監査法人アヴァンティア 代表社員 |
| 第29回 | 平成 25 年 4 月 23 日(火)8 名出席 | ER 作成業務の実施状況調査結果について ASTM E1527-13 改訂の動向 法第4条適用に関する Q&A |
| 第28回 | 平成 25 年 1 月 24 日(木)14 名出席 | ・「放射性セシウムの環境動態と対策の課題」 講師:保高 徹生 氏(独)産業技術総合研究所 |
| 第27回 | 平成 24 年 9 月 12 日(水)6 名出席 | ・汚染土壌処理施設 (早来工営㈱:三友プラントサービス㈱川崎工場)見学会 |
| 第 26 回 | 平成 24 年 7 月 12 日(木)8 名出席 | ・土壌汚染リスク評価 Q&A について |
| 第 25 回 | 平成 24 年 5 月 24 日(木)14 名出席 | 「放射性物質汚染対処特措法による除染への取組み除染関連事業緊急支援業務における経験を通じて」 講師:山川 公一郎 氏土壌汚染リスク評価分科会副主査・水質汚濁防止法の改正について・改正土壌汚染対策法から一年を経過した施行状況について |
| 第24回 | 平成 24 年 1 月 26 日(木)11 名出席 | ・「放射能・放射線の基礎と放射線測定の実際」 講師:関友 博 氏日本環境株式会社 |
| 第23回 | 平成 23 年 10 月 7 日(金)14 名出席 | ER ガイドラインの改訂について今後の分科会テーマについて |
| 第 22 回 | 平成23年8月2日(火)16名出席 | ・ER ガイドラインの改訂について |
| 第21回 | 平成 23 年 6 月 22 日(水)15 名出席 | ER ガイドラインの改訂について平成 23 年度の分科会テーマについて |
| 第20回 | 平成 23 年 4 月 22 日(金)10 名出席 | ER ガイドラインの改訂について平成 23 年度の分科会テーマについて |
| 第19回 | 平成 22 年 11 月 24 日(水)23 名出席 | ・「改正土壌汚染対策法の概要と土壌汚染調査会社の抱える 不動産取引上のリスク」 講師:深津 功二 氏 TMI 総合法律事務所 |
| 第18回 | 平成 22 年 9 月 10 日(金)16 名出席 | ・土壌汚染関連の法規制の変遷と調査方法の違いについて ・各社における REC の事例について |
| 第17回 | 平成 22 年 7 月 15 日(木)16 名出席 | ・土壌汚染関連の法規制の変遷と調査方法の違いについて ・各社における REC の事例について |
| 第16回 | 平成 22 年 4 月 23 日(金)16 名出席 | ・土壌汚染関連の法規制やガイドライン等の変遷について ・各社における REC の事例について |
| 第15回 | 平成22年3月2日(火)17名出席 | ・REC 判断のケーススタディ(その3) ・改正土壌汚染対策法のポイントと土壌状況調査について |

| 第14回 | 平成 22 年 1 月 19 日(火)12 名出席 | RECs の理解を深めるスタディ (その 4)REC 判断のケーススタディ (その 2) |
|------------|----------------------------|---|
| 第13回 | 平成 21 年 10 月 9 日(金)13 名出席 | ・RECs の理解を深めるスタディ(その 3) ・REC 判断のケーススタディ(その 1) |
| 第12回 | 平成 21 年 8 月 26 日(水)11 名出席 | ・RECs の理解を深めるスタディ(その 2) |
| 第11回 | 平成 21 年 6 月 24 日(水)14 名出席 | ・RECs の理解を深めるスタディ(その 1) |
| 第10回 | 平成 21 年 4 月 17 日(金)12 名出席 | ・「AAI と ASTM フェイズ I」講師:西田 道夫 氏(協同組合 地盤環境技術研究センター (GETReC)) |
| 第9回 | 平成 21 年 3 月 6 日(金)11 名出席 | ・平成21年度の目標と方針について |
| 第8回 | 平成 21 年 1 月 30 日(金)12 名出席 | ・ユーザーのための「Q&A」作成について (その4) |
| 第7回 | 平成 20 年 10 月 31 日(金)11 名出席 | ・ユーザーのための「Q&A」作成について (その3) ・次年度課題、法改正の動向など |
| 第6回 | 平成 20 年 9 月 5 日(金)13 名出席 | ・不動産鑑定士との意見交換会 |
| 第5回 | 平成 20 年 8 月 1 日(金)13 名出席 | ・ユーザーのための「Q&A」作成について (その2) |
| 第4回 | 平成 20 年 6 月 17 日(火)11 名出席 | ・ユーザーのための「Q&A」作成について(その1) |
| 第3回 | 平成20年3月18日(火)13名出席 | ・フェーズ I の判断(各社にアンケートを実施) ・不確実な情報に対する判断等について ・情報の重要度(住宅地図・登記簿) |
| 第2回 | 平成20年2月5日(火)11名出席 | ・フェーズ I 調査の結論にあたる REC について Enviromental DueDiligence A Professional Handbook の紹介等 |
| 第1回 | 平成 19 年 11 月 27 日(火)10 名出席 | ・BELCA ガイドライン改訂 ・土壌汚染リスク評価部分の説明等 |

その他

口震災対応に関する意見交換会

| | 回数 | 日時、出席人数 | 活動概要 |
|---|-----|-----------------------|--------------------------------|
| Ī | 第1回 | 平成 23 年 5 月 19 日(木)26 | ・「東日本大震災における被災調査報告ー被災事例から、 |
| | | 名出席 | 今後の DD を考える-」講師:楠 浩一 氏、ER 作成者連 |
| | | | 絡会議副幹事長建物状況調査分科会副主査 |